

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語演習 I C	
科目基礎情報							
科目番号	45002			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	5		
開設期	1st-Q			週時間数	4		
教科書/教材	アメリカ口語教本・初級用、W.L.クラーク著、研究社刊						
担当教員	南 優次						
到達目標							
①英語構文の体系的な理解ができる。 ②テーマに沿った英会話の基本が理解できる。 ③発音やイントネーションに配慮した基本的な英会話ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	英語構文に添った定型英作文が出来る。		英語構文に添った定型英作文を、3 / 4 程度出来る。		英語構文に添った定型英作文を、3 / 5 程度出来る。		英語構文の概念を理解していないため、定型文を作成出来ない。
評価項目2	テーマに添った英会話が出る。		テーマに添った英会話が3 / 4 程度出来る。		テーマに添った英会話が3 / 5 程度出来る。		テーマが理解できていないため英会話が出来ない。
評価項目3	発音やイントネーションに配慮した英会話が出る。		発音やイントネーションに配慮した英会話、3 / 4 程度出来る。		発音やイントネーションに配慮した英会話、3 / 5 程度出来る。		発音やイントネーションの原理が理解できていないため、英会話が出来ない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本校指定の外部資格であるTOEICの400～600，英検の準2級～2級レベルの教材である。						
授業の進め方・方法	実践的な会話能力養成を目指すので、シャドーイングが自然にできるまで反復練習することが必要である。						
注意点	TOEIC公式HP及び英検公式HPでは、英語学習者サポートアプリが充実している。講義の中で、TOEIC及び英検がHP内で案内する英語学習スケジュールリングサポートページを紹介するので、本校の情報インフラを十分に活用して、TOEIC及び英検を受験する準備を効率的に進めることが必要である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス はじめに		・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。毎回、語彙に関する小テストを実施する。		
		2週	Lesson One What's new?		Section I, II の英文読解ができる。Section III の重要表現が理解できる。Section IVの発音の違いを聞き取ることができる。Review Work・Review mini test		
		3週	Lesson Two What's your major?		Section I, II の英文読解ができる。Section III の重要表現が理解できる。Section IVの発音の違いを聞き取ることができる。Review Work・Review mini test		
		4週	Lesson Three It's fun to play Mahjong.		Section I, II の英文読解ができる。Section III の重要表現が理解できる。Section IVの発音の違いを聞き取ることができる。Review Work・Review mini test		
		5週	Lesson Four A modern home		Section I, II の英文読解ができる。Section III の重要表現が理解できる。Section IVの発音の違いを聞き取ることができる。Review Work・Review mini test		
		6週	Lesson Five Micky's Home Town		Section I, II の英文読解ができる。Section III の重要表現が理解できる。Section IVの発音の違いを聞き取ることができる。Review Work・Review mini test		
		7週	Lesson One - Lesson Five Shadowing Practice		Section II シャドーイングによる総復習		
		8週	Lesson One - Lesson Five mini test		Review Work・Review mini test		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習		自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合							
	試験	小テスト	相互評価	態度	英作文	レポート	合計
総合評価割合	0	40	0	0	40	20	100
基礎的能力	0	20	0	0	20	20	60
専門的能力	0	20	0	0	20	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0